

# リッチモンド(NZ)へ "友好の証し、

富士見町



富士見町の友好都市リッチモンドへ贈る  
プレートを制作した金子さん㊧と矢嶋町長

富士見町は、友好都市のニュージーランド南島の地方都市、タスマン地区リッチモンドの要請を受けて、友好都市を記念するプレートを制作した。十九日は町内の日本装飾美術学校に発注した作品が完成し、矢嶋民雄町長に披露された。

(川合弘人)

プレートは、リッチモンドに建設された中央公園に設置される。現地の「タスマン富士見友好協会」から、「記念のモニュメントを贈呈してほしい」と町に要請があり、電子メール交換で協議した結果、プレートを贈ることが決まった。

プレートは縦三十一センチ、横四十八センチの鉄製。七キロの重さがある。地球儀を模した円形のデザインで、北半球である上側に日本、南半球の下側にニュージーランドの地図を配し、両町の場所を記した。文字は上に「Friendly Town Relationship」、下

に締結日である「28th October 1993」と書いた。富士見町の町花であるスズランを二カ所に描いた。

制作は日本装飾美術学校卒業生で、金属工房講師の金子恭史さん(三巴)が担当。腐食彫刻の技法を使い、紺色の地に白い文字や地図が浮き上がるようになった。「面の情報量が多いかったので工夫し腐食の技法を選択しました」という。

同町総務課の小池由紀夫企画統計係長は「両町の友好を深める象徴になれば」と期待する。総事業費は五十万円。月末に航空便で発送する。

リッチモンドへは毎年三月、町人材育成海外派遣事業で中学二年生十五人が訪問しホームページ。今年度で十八年目。友好都市締結は十五年目になる。

## 記念プレート完成

日本装飾美術学校が制作